

英語資格（外部検定）の活用を予定されている受検生の皆さんへ

令和2年 10月24日
大阪府立大手前高等学校
学校長 松田 正也

昨年度、本校を受検した多数の生徒が英語資格(外部検定)を活用しました。

英語資格（外部検定）の取得のためには、英語の4技能のバランスの良い習得が必要です。このことは、これからの英語教育の方向と一致しており、英語資格を取得することは学校での英語の学習を進めて行く上でも意義のある事です。

しかしながら、この資格を活用して入学した生徒の中から、

「英語資格を取得してからは英語の勉強をしてこなかったのが、高校の英語の授業についていけない」

「資格を取った後も英語の受験勉強をしっかりとしておくべきだった」

という声を懇談の中で聞くことが少なくありません。

また保護者からも

「資格取得後に英語の学習がおろそかになり、中学まで得意科目だった英語が高校では苦手科目になってしまったようだ」

という意見もありました。

皆さんにとって受験勉強は、高校入試を突破するための勉強でもありますが、高校入学後に授業や学習にしっかりと取り組んでいくための勉強でもあります。英語資格は、英語の試験の得点に換算されますが、だからと言って資格を取れば英語の勉強はしなくてよいというものではなく、英語資格の有無にかかわらず、最後まで英語の学習に地道に取り組んで高校に入学してきてほしいと思っています。

皆さんにとって、高校入学が人生のゴールではないはずです。高校に入学した後、しっかりと学習を進め、充実した生活を送りながら自分の希望する進路を実現することが目標であると思います。

「継続は力なり」という言葉にあるように、受検生の皆さんには何より中学校等の授業を大切にして、最後まですべての教科の学習にしっかりと取り組み、本校を受検していただくことを期待します。